



担当 6班

実施日 : 2017年12月8日(金)

天候 : 曇り

参加人数 : 64名

行程 : 阪神電車センタープール前駅(10:00) ⇒ 阪神電車野菜工場(10:03) ⇒ 道意神社(10:15) ⇒ 元浜緑地(10:20) ⇒ 祇園緑地 ⇒ であい橋(10:40) ⇒ 北堀運河・中堀運河・南堀運河 ⇒ 尼崎ロック(11:30) テクノランド前(12:10) ⇒ 尼崎の森中央緑地(12:30) 昼食・班長会議 「はじまりの森」等インストラクターによる講義(13:15~14:00) ⇒ スポーツの森・バス停(14:10 解散)

元浜緑地 : 全国ではじめて“大気汚染対策緑地”として整備された公園である。かつて公害でとりあげられた尼崎市は現在は環境モデル都市として復活していることを実感する。

であい橋 : 尼崎運河のシンボルで、北堀運河と中堀運河が合流するところであり、水質浄化施設では生物の生態系を利用して運河の水質を浄化する機能を持つ。水の中の濁り(プランクトン)を食べるコウロエンカワヒバリガイという2枚貝の力を利用している。この日はホシハジロ、キンクロハジロ、ユリカモメを観察できた。

尼ロック : 尼崎閘門は水位の低い運河側と水位の高い海側をつなぐ水路でレオナルドダビンチが考案したパナマ運河方式。船舶の運航だけでなく、大雨注意報がでると強力なポンプで運河の水位を下げ周囲の河川の水を貯め、防災機能も有する。おりしも大きな船が荷をおろし閘門を出て海に向かうのを見ることができた。

尼崎の森中央緑地 : 「はじまりの森」のテーマで工場跡地に、尼崎に古来から生息する植物の種から苗を育てて植え、100年後には六甲山のような森を目指している、というインストラクターさんによる講義を受けてから6年目の森を見学した。



尼崎運河であい橋



キョウチクトウの実



6年目の森

所感 : 6班の感想は以下のとおりです。

- ・公害の町だったが、尼崎再発見で緑化に真剣に取り組んでおられて、10年後の森をみたい。
- ・環境都市への転換に努力されている取り組みに感銘した。
- ・公害のイメージを払拭する環境への取り組みがされていて、市の姿勢、それにかかわるボランティアの方々の思いが伝わる良い活動だった。6年目の森の10年後、20年後が見てみたい。
- ・尼崎の森、種から育てるとの話に感動、100年後が楽しみ。
- ・楽しいボランティアの説明でした。尼崎にこのようなところがあつたのに驚いた。
- ・長生きして百年の森がどのように変わるか見てみたい。